

令和 8 年度磐田市観光実態調査業務委託仕様書

第 1 章 業務概要

1 調査の目的

市内の観光施設を訪れる旅行客の流動実態を把握するための「磐田市観光実態調査」（以下「調査」という。）を以下により実施し、調査結果の単純集計及びクロス集計を行うことで、具体的な施策立案につなげるため。

2 履行期間

契約締結日の翌日から令和 8 年 12 月 28 日まで

第 2 章 調査業務内容

1 調査地点及び調査票回収数

別表 1 のとおりとする。ただし、施設による回収数の偏りが極端に発生しないよう各施設において一定数以上の回答を収集するものとし、その詳細は発注者と協議の上決定する。

回収数については、有効回答のみを対象とする。

※ 調査員は、その場で有効な回答内容か確認する。

※ 来場者が極端に少ない場合を除き、調査対象者は、来場者から満遍なく抽出するように配慮する。

2 調査時期及び調査回数

別表 2 のとおりとする。

※ 調査日は、原則として受託者が調査施設と連絡調整した上で決定する。

3 調査対象者

市外来訪者とし、調査開始時に確認する。なお、調査開始時に磐田市内居住者と回答した者は代表者人数のみ記録し、調査票回収数には含まないものとする。

4 調査方法

調査員による聞取調査にて実施する。

※ 使用する媒体（紙又は電子）は問わない。

5 回答内容の確認

全調査地点における回答内容の確認及びデータのクリーニングを行い、無効な回答を排除する。

6 調査項目

別表3の項目のとおりとし、回答項目の内容等詳細は市が作成し調整する。

7 贈答品等の進呈

調査協力者に対し市が用意した贈答品を進呈する。

8 単純集計

調査結果及び調査時に記録した磐田市内居住者の人数を集計する。

また、市が実施した調査結果も市からデータ提供を受け、同様に集計を行う。

ア 市全体

イ 施設別

ウ 居住地別（近隣市町、県内、県外）

9 クロス集計

1－8単純集計結果を踏まえ、居住地、年代、性別、同行者、施設、来訪頻度等の属性及び行動特性等を組み合わせたクロス集計を実施する。クロス集計の組み合わせは別表4のとおりとする。

また、各クロス集計結果から読み取れる特徴や傾向を整理し、分析すること。

第3章 成果品

1 成果品等の提出

調査の概要、回答の入力データ、集計データ及び分析結果等をまとめた報告データをグラフ・イラスト等を用いてわかりやすく作成し、CD等の媒体に保存し、贈答品の余りと併せて以下へ提出する。

提出先：磐田市スポーツ文化観光部観光政策課（静岡県磐田市国府台3-1）

第4章 協議

1 仕様書の変更

本仕様書の前提条件や内容に変更が生じたとき又は特別な事情が生じたときは、委託者と受託者との協議の上、本仕様書の規定を変更することができるものとする。

2 疑義についての協議

本仕様書に記載されていない事項等に疑義が生じた場合は、委託者と受託者との協議により決定するものとする。

別表1 アンケート調査地点

カテゴリー	施設名	調査票総回収数	
歴史	旧見付学校	下限30件	(5施設の合計) 下限400件 上限500件
自然・体験	竜洋海洋公園オートキャンプ場	下限50件	
公園	竜洋昆虫自然観察公園	下限50件	
博物館	磐田市香りの博物館	下限50件	
農産物直売所	とよおか採れたて元気村	下限50件	
※スポーツ	ヤマハスタジアム	50件～100件	

※スポーツ（ヤマハスタジアム）の調査は市職員が実施する。

※調査票回収数は、調査対象者が回答した有効調査票の数とする。

別表2 調査時期及び調査回数（1施設ごと）

時期	回数
9月～11月	土日祝のうち3回

別表3 調査項目

調査目的	調査項目
商圈分析	居住地
ターゲット分析	年代
ターゲット分析	性別
市場セグメント分析	同行者
リピーター分析	磐田市への来訪頻度
滞在型観光への転換	市内滞在時間、宿泊地
アクセス分析	主な移動手段、市内移動手段
回遊促進	立寄先
消費分析	市内消費額
観光コンテンツ整備	改善点
意向調査	磐田市への再訪意向

別表4 クロス集計

要素1	要素2
年代	市内消費額
同行者	市内消費額
滞在時間	市内消費額
来訪頻度	市内消費額
来訪頻度	立寄先
同行者	立寄先